

露地野菜に対する 生分解性フィルムの適応性

福島県農業試験場野菜部
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

野菜－その他－施設資材
分類コード 03－99－35000000

2 担当者

雨宮潤子

3 要旨

数種の生分解性マルチを用いて、スイートコーンおよび加エトマト栽培を行い、ポリマルチと同様の生育・収量を得られることを確認した。

- (1) 生分解性マルチの多くは、栽培後期にやや崩壊がみられたものの、生育への影響はなく、いずれの生分解性マルチもポリマルチと同等の収量が得られた。
- (2) 生分解性マルチは、栽培終了時のマルチの剥ぎ取り・回収の必要がないために、後片づけの作業時間が1/5に短縮され省力的であった。
- (3) スイートコーン栽培で用いた生分解性マルチ(土っ子D、サングリーン、ユニグリーン、バイオマルチ、キエ丸(M)、エコロームFC(S)、イーマルチ、エコグリーン、コーンポール(S))は、栽培期間3ヶ月程度の作物に利用可能である。また、加エトマト栽培で用いた生分解性マルチ(キエ丸(L)、エコロームFC(L)、イーマルチ、コーンポール(L))は、栽培期間4～5ヶ月程度の作物に利用可能である。

4 その他の資料等

なし